

JAL、インバウンドの地方送客による地方経済活性化を促進

～【第一弾】関西＝台北線の季節運航、冬ダイヤの那覇＝台北線の販売開始を発表～

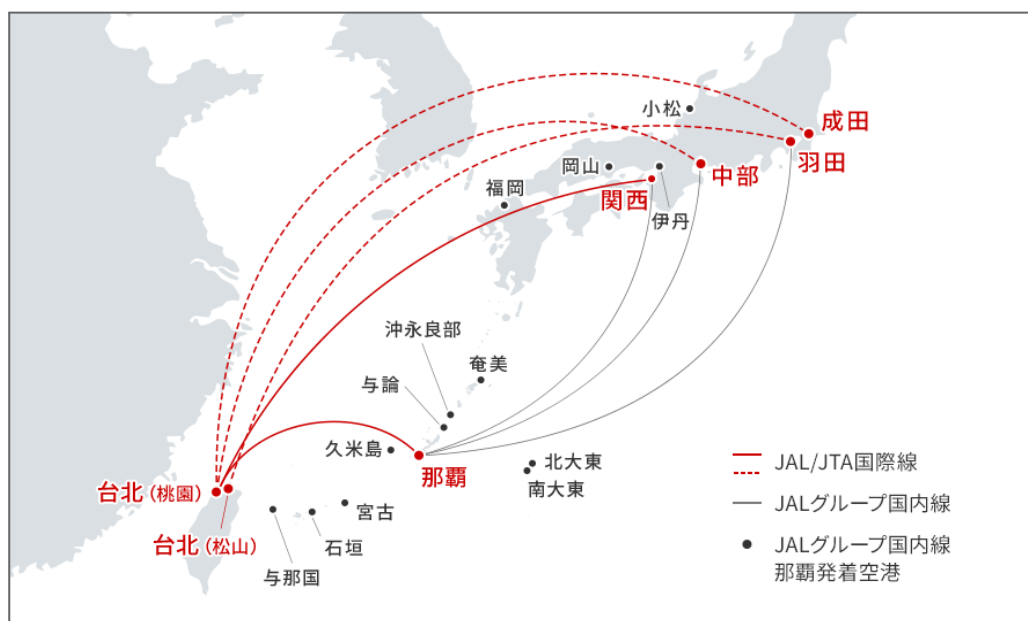
JALグループは、「移動を通じた関係・つながり」の拡大に向け、国内間だけではなく、海外と日本とをつなぐインバウンド・アウトバウンド需要の創出に取り組んでいます。

今般、政府が掲げる「2030年までにインバウンド6,000万人」という目標の達成ならびにインバウンドの「地方ダイレクトイン」送客による地域経済活性化を強力に後押しする施策の第一弾として、好調な台北路線を強化します。また、今後もJALグループのリソースをフル活用しながら、提携航空会社との協業も含め、本取り組みを加速していく予定です。

JALグループは、国内外のパートナーや地域の皆さまと手を取り合い、強固な航空ネットワークを活かして「地域と都市部・世界」「人と人」をつなぐことで、地域の社会的・経済的価値を創出し、持続可能な社会の発展に全力で貢献してまいります。

第一弾 台北路線の強化

- ✓ 約2年ぶりに関西＝台北(桃園)線を運航
- ✓ JTA 那覇＝台北(桃園)線の下期ダイヤ運航決定、販売開始



■本取り組みの背景と目的

日本の観光業界は、著しいインバウンド需要に沸く一方で、旅行者が首都圏や一部地域に集中することによるオーバーツーリズムが課題となっています。また、旅行者のニーズが「モノ消費」から「コト消費」へとシフトするに伴い、地方ならではの豊かな自然や伝統文化、食文化への関心が高まる一方で、二次交通や情報発信の課題から、その魅力が十分に伝わりきっていない地域が多く存在します。

JALは、海外から地方への直行便を運航することで、知られざる魅力を持つ日本各地へのスムーズなアクセスと観光需要の分散を実現するとともに、地域に新たな経済循環を生み出し、持続可能な観光立国の実現に向けた貢献を図ります。



■第一弾 台北線の強化

(1)約2年ぶりに関西＝台北(桃園)線を運航

9月から10月にかけてシルバーウィークや中秋節をはじめとした連休があり、台北線においてはインバウンド・アウトバウンド双方にとっての旅行シーズンです。JALは、この連休に合わせた一部日程を対象に、関西＝台北(桃園)線を約2年ぶりに運航します。旺盛なインバウンド需要を関西エリアへダイレクトに呼び込みます。

<運航スケジュール>(*1)

便名	区間	出発時刻 (現地時間)	到着時刻 (現地時間)	運航機種	運航日
JL8667	関西－台北(桃園)	9:10	10:50	787-9	2026年9月18日、20日～22日、 24日、25日、27日、28日、 10月9日、11日、12日
JL8668	台北(桃園)－関西	12:25	16:05		

(2)那覇＝台北(桃園)線の下期ダイヤ運航

2026年2月3日に就航したJTAの那覇＝台北(桃園)線について、2026年下期ダイヤも引き続き運航します。台北からほど近い那覇との観光・経済交流をさらに活性化するとともに、那覇を玄関口として、JALグループ国内線ネットワークやJAL台北線(羽田・成田・中部・関西発着)と組み合わせることで、周辺の離島や日本各地との周遊が可能になります。

<運航スケジュール>(*1)

便名	区間	出発時刻 (現地時間)	到着時刻 (現地時間)	運航機種	運航期間
NU301	那覇－台北(桃園)	8:35(*2)	9:15	737-800	2026年10月25日 ～2027年3月27日
NU302	台北(桃園)－那覇	10:15	12:50(*3)		

JAL Webサイト、コールセンター、ならびに当社指定旅行会社にて販売開始しております。詳細については、JAL Webサイト(<https://www.jal.co.jp/>)をご確認ください。

■参考:JALの台北線(*4)

路線	便名	区間	出発時刻 (現地時間)	到着時刻 (現地時間)	運航機種
羽田＝台北(松山)	JL97	羽田－台北(松山)	8:55	11:15	787-9/787-8
	JL99		18:25	20:50	
	JL96	台北(松山)－羽田	9:40	13:50	
	JL98		14:20	18:30	
成田＝台北(桃園)	JL8663	成田－台北(桃園)	8:55	11:35	767-300ER
	JL809		18:05	20:45	737-800
	JL802	台北(桃園)－成田	10:25	14:55	
	JL8664		12:45	17:15	767-300ER
中部＝台北(桃園)	JL8671	中部－台北(桃園)	10:40	12:45	737-800
	JL8670	台北(桃園)－中部	14:05	17:55	

(*1)上記計画は関係当局への申請と認可を前提としています。今後、変更が生じる可能性があります。

(*2)2026年12月1日～2027年1月31日は5分早発、2月1日～3月27日は5分遅発。

(*3)2026年12月1日～2027年2月28日は5分早着。

(*4)2026年9月1日～10月24日の運航スケジュールを記載。

以上